



レポートと論文の 書き方について

レポートと論文の書き方

中央学院大学図書館
2023年4月

①【レポートと論文について知ろう】

◆レポートと論文の目的

資料や文献調査の結果や、実験結果のデータなどから得た客観的事実を根拠にして、自分の意見の主張を行い、読み手を納得させることが目的です。

感想文のように、自分の意見（主観）に基づいた説明ではなく、客観的事実に基づいているため、他の人と検討・討議ができることが、レポートと論文となります。

◆レポートに必要なもの

レポートと論文を書くためには、まず根拠となる客観的な事実を調べることから始まります。その際、信頼性の高い情報や、読み手がその事実（情報）を調べたときに、同じ情報を得られるものであることが重要です。

調査した情報や、事実の出典元を表記すること、インターネットから得た情報の場合には、閲覧した年月日も表記することなど、引用や参考情報を正しく表記することを意識して調べましょう。

【レポートと論文作成のポイント】

自分の意見の伝え方

レポートと論文全体で、主張が一貫していないと何も伝わらないため、情報を自分なりに分析して意見を主張することが大切。

まとめる技術

主張と根拠が合理的につながるように、論理的に説明する。
（表記の統一、わかりにくい用語の注釈や定義、誤字脱字がないかを確認。）

レポートと論文の書き方

中央学院大学図書館
2023年4月

②【根拠となる情報・資料を集めるには】

★レポートと論文には、根拠となる“信頼性”が高い資料が必要である。そのため、広い範囲で情報を集めることが重要であり、さまざまな検索方法を知り、調べたい文献や図書などにあった検索機能を活用することも大切である。

＜辞書や辞典/図書について＞

◆ Maruzen eBook Library

・丸善雄松堂が提供する電子書籍サービスです。

＜雑誌記事や論文について＞

◆ 東洋経済 デジタルコンテンツ・ライブラリー

・東洋経済新報社の経済・ビジネス・企業情報誌をWEBで検索・閲覧できる図書館向けオンラインデータベース。

＜新聞記事について＞

◆ 日経テレコン

・1975年以降の日本経済新聞・日経産業新聞・日経金融新聞・日経流通新聞の記事検索ができます。企業検索・人事検索もできます。
※利用希望者はレファレンスカウンターまで。

◆ 朝日新聞クロスサーチ

・朝日新聞の記事検索サービスです。

◆ ヨミダス歴史館

・読売新聞の記事検索サービスです。

◆ 毎索

・毎日新聞の記事検索サービスです。

論文を調べてみよう

中央学院大学図書館
2023年4月

◆CiNii Research(サイニィ リサーチ)

「<https://cir.nii.ac.jp/>」

・論文をはじめ、図書・雑誌・博士論文などの学術情報を検索できるデータベース・サービスです。検索結果に「オープンアクセス」や「機関リポジトリ」のアイコンが表示されているものは、無料公開されています。

◆国立国会図書館オンライン(NDLONLINE)

「<https://ndlonline.ndl.go.jp/>」

和図書・洋図書、和雑誌・和新聞、洋雑誌・洋新聞、電子資料、国内博士論文の検索や、国内刊行雑誌の雑誌記事検索を利用できます。

◆Google Scholer (グーグル スカラー)

「<https://scholar.google.jp/>」

・Googleが提供する学術用途の検索サービスです。世界中の論文や学術誌、出版物の全文、あるいはメタデータにアクセスできます。

※メタデータとは、データそのものの内容とは別に、そのデータに関連づけて作成された補助的な情報となります。

◆J-STAGE (ジェイ ステージ)

「<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/>」

・国内の学協会誌の電子ジャーナル公開プラットフォームです。

・「フリー」「オープンアクセス」のアイコンが付いているものは無料公開しています。

図書館で契約している 便利なデータベース

中央学院大学図書館
2023年4月

◆MAGAZINE PLUS(マガジン プラス)

・さまざまな機関・団体が提供する、雑誌記事情報を扱う日本最大級の雑誌・論文情報データベースです。

◆D1-Law.com(ディーワン-ロウ ドットコム)

・法学を学ぶ上で基本となる、法令情報／判例情報／法律文献情報を検索・閲覧できます。

◆TKCローライブラリー

・「LEX/DBインターネット」をベースに、法律関係リンク集や公的判例集データベースなど、関連情報の収集にも便利なデータベースです。

その他、学内で利用できるデータベースがございます。詳細は、中央学院大学図書館HPの「探す・調べる」より「オンラインデータベース」の「学内専用データベース」をご覧ください。

(<https://www.cgu.ac.jp/library/search/online.html>)

※各データベースには同時アクセス数に制限がございます。